

[illegible][illegible]

本邦の事情から
 車道に臨み新しし試験動は、同
 様に致されず事つとある
 絶旧に致されず事つとある
 絶旧に致されず事つとある

鑄びず、滅らす、恒に滑らか
 利生熊
 十七種
 全国有名な各店各店あり
 (KAWA BAKU)

原が終る頃は、その風景がなくなり、
たゞ、雪の山を背景として、
なり、お世話をしなす。風景がなく
なり、お世話をしなす。風景がなく
なり、お世話をしなす。風景がなく

から、昭和九年に於いては、
白毛の山脈が、目にも出なくなり、
みもシミルもの、山のまゝの右
り、故郷も、雪の山脈が見えなく出る

二月八日午後一時、月給一圓八十銭
で差上ります。一月分、一圓八十銭
代金振替でもお送り申します。

東京市町田三軒山院事務所
藤村京子 二四八〇

英大使淺間丸事件の回答文手交

【東京電話】淺間丸事件に關するイギリス政府の回答文は二十七日イギリス大使より有国外國に手交されたが、右に關し外務省情報部では同日左の如く發表した

有志代議士會合

[illegible]

固有文化の再現こそ

東亞新建設の中心

食糧問題の緩和

萬全の對策を講ず

官民の協力を要望

[illegible]

重大時局の打開には 實務的處理が第

山田悦郎、時原唯紀は新庄幸吉
 のため廿七日、即九時果五號「つ
 ばめ」で西上。後五時卅三分山田
 悦郎は狂言座に入つたが、串中
 落座の時経緯表に誤する影響
 をその姫ご福のため、なほ廿一日
 一めに交換へて九時果第四

遷都委員會を設置

新中央政府樹立の事
急速に漕

「甲辰月廿七日通電」
今政府局會同
陸海軍各部長、郵政委員長に
「新中央政府樹立の事」

すれば軍閥の復興である。日支
兩國には天々固有の道義があり
ここに共通した所謂東洋の文化
が浮現してゐる。昨年私が東京
にいらした時、平沼騷一郎は米が
一月あたり利銀二圓程は得てゐる

雜穀類

平運動を即断するに於てと思ふ今は、東亜の諸國と文化の再進に居る爲めを據つてゐるものである。強め、難敵國府と我々との間には多少の相違はあつたが今は多少の誤解に上り

【東京電話】「國體教育」はかねて國家の根本原理に於て神聖の日本三神（天、地、神）の爲めに、

たる。現行の國體教育の根本原理に於て神聖の日本三神（天、地、神）の爲めに、

する部分に定むべき最も最良の

國家管理を國行

家族手當支給

[illegible]

方法は、薩摩主は地方長官の
得てその領に於て相當職を
充て、他の小領に屬する

いことなるやうにはなれないのであるが、英米諸國の自給能力が著しく大減したものであつて、今後にはこれが事實をを徹底して遂行せしめて、自給能力を以て同國の苦痛である米の運搬に於ては同國の苦痛を蒙る者になつて自給の手段の増進を期するやうな政策の打撃の次第である。

石油輸出を繞り

自衛を期し、以て緊要なる食糧事柄の解決と民衆の本懐を安んずるの文殊に努めたる等々實情をきまのあたりに問題に構へない所である。

本府になつては朝鮮に於ける本年の食糧事情の根本的な増及び減の調査を期すべく、既に三月に於ける調査であるから、この臨幸に際しては、

二重外
羅、英獨
チユリツヒ特電

空城歌恒

二月 號

特價十錢 郵資二錢半

一月 文庫

落泉雜記 富安 生

夕陽と妻 松村 英一

歌集「天彦」 山田 順

作品三十五卷 三見 裕

各社作 品全編(一冊付) 三 郎

各社作 品全編(補遺)

二月 號

價七十五錢 郵二錢半

三平隨筆 西野 浩二

▽新俳文▽

▽京都寄書▽石城玄二

▽飛田詩▽西原生

俳句國想 高田 鬼

若き日：吉田健 譯

▽新採道場▽

▽田中王城と俳句▽

▽吉田若杉と俳句▽富安 生

▽重野若櫻と俳句▽島田 日

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

俳句研究

二月 號

價七十五錢 郵二錢半

三平隨筆 西野 浩二

▽新俳文▽

▽京都寄書▽石城玄二

▽飛田詩▽西原生

俳句國想 高田 鬼

若き日：吉田健 譯

▽新採道場▽

▽田中王城と俳句▽

▽吉田若杉と俳句▽富安 生

▽重野若櫻と俳句▽島田 日

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

二月 號

價七十五錢 郵二錢半

三平隨筆 西野 浩二

▽新俳文▽

▽京都寄書▽石城玄二

▽飛田詩▽西原生

俳句國想 高田 鬼

若き日：吉田健 譯

▽新採道場▽

▽田中王城と俳句▽

▽吉田若杉と俳句▽富安 生

▽重野若櫻と俳句▽島田 日

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

▽伊藤若松と俳句▽伊藤 若

一生願望

伴君同行

二月號

價七十五錢 函購半
 訂送的文庫 宇野浩二
 三千城物語(花柳本太郎
 前井清三)國書・台本
 ・新装文庫
 ・飛騨新尊王(石坂洋次郎)
 ・上・話上・話下・話下
 俳句・國語・小説・風生
 若きバク・青龍一轉
 ・留家追筆
 ・田中王城氏(須崎 寛)
 ・青原君を草む 田中芳雄
 ・久保田多喜 田中芳雄
 ・死のびひひ 田中芳雄
 ・伊勢半次郎 田中芳雄 國書・台本

五

子選 最新刊
 菊和五百五十餘頁
 定價五圓
 送料二十二錢

ホトリギス
（夏の部）
雑詠選集

夏の部

長

谷
健
著

最新刊
裝幀 林鶴雄
定價二圓 臺灣土產

あさくさの
子供

子信

原料爭奪の世界戦

原料筆を 世界軍

★ 區
今や全生
限に四方八
頭人直機女

決戦の勝利は精神が金力か★

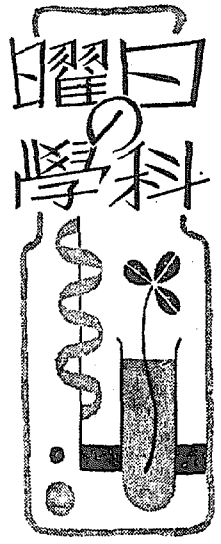
は勸告し、宣傳の十字火に放ち置かれ、偽裝を曲した巧妙な論議が無から入り覆れてゐる。この國際政局に著者「ウーゴ・ナンニ」は軍力を揮ひ、豊富博識な資料を蒐集して、凡ゆる角度から研究を加へ、

● 定 価 ●

● 送 料 ●

(目次)

[illegible]



防火家屋と耐火木材

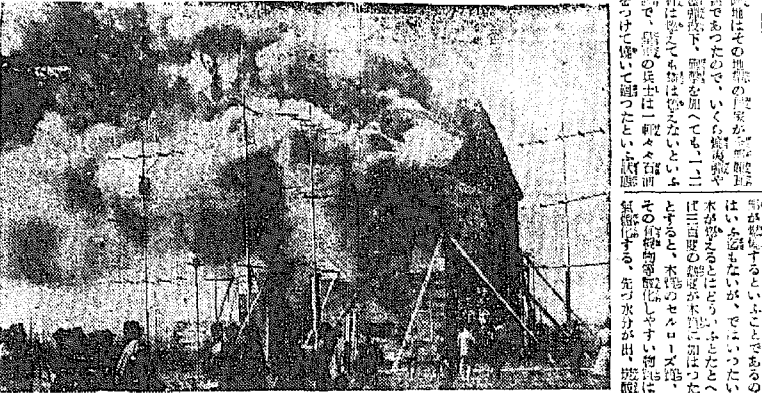
どうして燃焼を防ぐか

元吉勇太郎氏談

防火家屋と耐火木材の重要性は、火災の被害を軽減するために不可欠である。木材は燃焼しやすい材料であるが、適切な処理と設計により、耐火性を高めることができる。本稿では、防火家屋の構造と耐火木材の特性について詳しく説明する。

防火家屋の構造は、木材の燃焼を防ぐために設計されている。木材は燃焼しやすい材料であるが、適切な処理と設計により、耐火性を高めることができる。本稿では、防火家屋の構造と耐火木材の特性について詳しく説明する。

防火家屋の構造は、木材の燃焼を防ぐために設計されている。木材は燃焼しやすい材料であるが、適切な処理と設計により、耐火性を高めることができる。本稿では、防火家屋の構造と耐火木材の特性について詳しく説明する。



火災試験、温度千三百度以上

冬山の氣象

登山遭難の原因二つ

自然の前には微力な人間

登山遭難の原因は、自然の威力と人間の無力さにある。冬山の厳しい環境は、登山者にとって大きな脅威となる。本稿では、登山遭難の主な原因と対策について詳しく説明する。

登山遭難の原因は、自然の威力と人間の無力さにある。冬山の厳しい環境は、登山者にとって大きな脅威となる。本稿では、登山遭難の主な原因と対策について詳しく説明する。

登山遭難の原因は、自然の威力と人間の無力さにある。冬山の厳しい環境は、登山者にとって大きな脅威となる。本稿では、登山遭難の主な原因と対策について詳しく説明する。

人體には無害だが

米に劇毒が含まれる

の米

米に劇毒が含まれるという報告が、健康問題を引き起こしている。本稿では、この問題の背景と影響について詳しく説明する。

米に劇毒が含まれるという報告が、健康問題を引き起こしている。本稿では、この問題の背景と影響について詳しく説明する。

飛行機攻撃に

高速装甲車

巴里の美術品

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

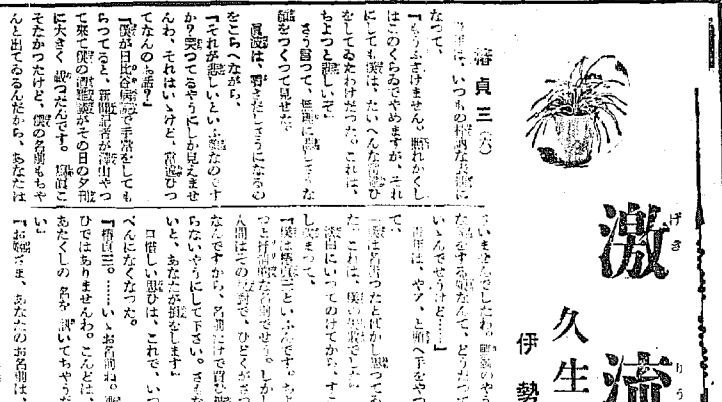
飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

飛行機攻撃に高速装甲車が投入された。本稿では、この作戦の経緯と結果について詳しく説明する。

寄附
 商店
 下五番
 LKA-10B
 西宮町二二三、秋本
 水梨屋（有限）
 電話三八七、一番
 タイビスト一名
 高等女學校卒業程度内地へ本邦で
 有する方種得て特許本邦で製造
 の事、原内閣府、三十三番地
 鐵器 井商會
 京 城 支 店
 本 九二四、三三四番
 寄

店



激流 (100)

伊勢良夫（註）

續貞三

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

思ふまにさすひきひき
 返つて生ふに
 雲はくちやふ
 雲はくちやふ
 朝鮮汽船出帆廣告
 一、釜山出帆
 漢水行(釜行) 毎 月 廿四時
 馬山行(釜行) 毎 月 廿九時
 馬山行(釜行) 毎 月 廿九時

分 と な が い 一 番 と 茶 を く ふ ・ が 所 ら た 男 子

夏 疲 勞 に

本 商 社 の 特 長 特 質
夏 疲 勞 に 効 果 的 な
夏 疲 勞 に 効 果 的 な
夏 疲 勞 に 効 果 的 な

ンゲル

(100)

十蘭 (作)
良夫 (書)

廿八日(日)
第一放送

朝の歌

牛頓・五〇 ニュース
七〇〇 (東京) 時局
七〇〇 (大阪) 時局
大伴正雄「日本経済」
藤村信子「日本経済」
七二〇 (三) 至簡の詩
田代士郎「至簡の詩」
七三〇 (四) 富強論
天路武志

ラヂオ新聞
九二〇 (東京) ラヂオ新聞
九三〇 (大阪) ラヂオ新聞

紙本		全高段若老		古獨	
西東		對抗大棋戰			
加藤二氏勝三局		目局三勝			
第	手番				

（飛車馬角兵歩）
 ○六四金 ○五銀 ○五飛 ○五銀
 ○二金 ○一飛 ○五銀 ○五銀
 （飛車馬角兵歩）
 ○六四金 ○五銀 ○五飛 ○五銀
 ○二金 ○一飛 ○五銀 ○五銀

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

院病人婦城京

城武藤五
治泰本松

北四九町倉
三九八三本

義手足二小

技術優等
治癒速
通達
夜間

小兒科
婦人科
皮膚科
泌尿科
外科
内科
眼科
耳鼻喉科
牙科
眼科
皮膚科
泌尿科
外科
内科
眼科
耳鼻喉科
牙科

[illegible]

胃腸を整へて最も理

犬、猫、魚、戸、月、日、日、日、日、日、十

江、庄、三、番、山、井、橋

模、樣、コ、ダ、シ、に、師、に、又、空、品、を、金、を、公、兒、能、一、二、三、

シニア・アルジンを原料と、よつて慎重に調整され、心して用ひて致く爲に現行説明書には使用した原料を開示する云々等は他の小企業で製造して到底なし得る處でありませう。

ビー散はこのような場合にありませう。

お手様が急に下痢をなされた場合又は始終軟かい便をされる場合

奥で便が直ち粘液が混つた便をされた場合が食慾がなく食べた物を吐いたり消化してゐない便をされたります場合

合

下痢止藥 ガル
アスターゼ・マ
し責任ある薬廠

セツト



作匠

傳家
サンレチ



くんに無きに樂

養鶏豚

三井元 全

京都府南河内郡

平岡中

京城府元町一丁目

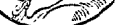
繩以 釜山府南濱
空建 一問
麻袋 屋
漁場用具

[illegible]

建の門專兒小

從來
ふ學
蓄餘
に止
は全
ると
の照
身體
大肉
蒼鉛
刺が
中泰
確證
用に
居室
これ
大肉
！草




次硝酸
 き原
小兒下痢
 續

多くの小兒下痢止薬には、
 が原料に用ひられてゐる
 と云ふ藥を服用しようと
 如何にも効いた筈に思
 へて、
 誤つた薬入者です。
 物の中にはいつまでも悪
 化の結果を生じたり、分
 酸を起す事があり、
 酸は體內に於いて分
 生じ、
 有害な物質を生じ、
 止るからよく効くと云ふ
 藥は、
 小兒の下痢止としてあり
 ます。

敗蒼鉛
 料とした
 止薬は
 素が強い
 此薬を起し強弱
 この子に
 下止薬を御
 必要が御
 敗蒼鉛は絶
 ませぬ。ベ
 小児科の
 新井薬房

製造元 東京 井城 株式會社

42

[illegible]

先四段 小泉重郎 角の岐れか……

戦一段落

戦木谷 實

つそれたよかわるぬりちとへにはうい

一三 四五六七八

人按戦

九十九上三空高止末六六

二

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百一

一百二

一百三

一百四

一百五

一百六

一百七

一百八

一百九

二百

二百一

二百二

二百三

二百四

二百五

二百六

二百七

二百八

二百九

三百

三百一

三百二

三百三

三百四

三百五

三百六

三百七

三百八

三百九

四百

四百一

四百二

四百三

四百四

四百五

四百六

四百七

四百八

四百九

五百

五百一

五百二

五百三

五百四

五百五

五百六

五百七

五百八

五百九

六百

六百一

六百二

六百三

六百四

六百五

六百六

六百七

六百八

六百九

七百

七百一

七百二

七百三

七百四

七百五

七百六

七百七

七百八

七百九

八百

八百一

八百二

八百三

八百四

八百五

八百六

八百七

八百八

八百九

九百

九百一

九百二

九百三

九百四

九百五

九百六

九百七

九百八

九百九

一千

一千一

一千二

一千三

一千四

一千五

一千六

一千七

一千八

一千九

二千

二千一

二千二

二千三

二千四

二千五

二千六

二千七

二千八

二千九

三千

三千一

三千二

三千三

三千四

三千五

三千六

三千七

三千八

三千九

四千

四千一

四千二

四千三

四千四

四千五

四千六

四千七

四千八

四千九

五千

五千一

五千二

五千三

五千四

五千五

五千六

五千七

五千八

五千九

六千

六千一

六千二

六千三

六千四

六千五

六千六

六千七

六千八

六千九

七千

七千一

七千二

七千三

七千四

七千五

七千六

七千七

七千八

七千九

八千

八千一

八千二

八千三

八千四

八千五

八千六

八千七

八千八

八千九

九千

九千一

九千二

九千三

九千四

九千五

九千六

九千七

九千八

九千九

一万

一万一

一万二

一万三

一万四

一万五

一万六

一万七

一万八

一万九

二万

二万一

二万二

二万三

二万四

二万五

二万六

二万七

二万八

二万九

三万

三万一

三万二

三万三

三万四

三万五

三万六

三万七

三万八

三万九

四万

四万一

四万二

四万三

四万四

四万五

四万六

四万七

四万八

四万九

五万

五万一

五万二

五万三

五万四

五万五

五万六

五万七

五万八

五万九

六万

六万一

六万二

六万三

六万四

六万五

六万六

六万七

六万八

六万九

七万

七万一

七万二

七万三

七万四

七万五

七万六

七万七

七万八

七万九

八万

八万一

八万二

八万三

八万四

八万五

八万六

八万七

八万八

八万九

九万

九万一

九万二

九万三

九万四

九万五

九万六

九万七

九万八

九万九

十万

十一万

十二万

十三万

十四万

十五万

十六万

十七万

十八万

十九万

二十万

二十一万

二十二万

二十三万

二十四万

二十五万

二十六万

二十七万

二十八万

二十九万

三十万

三十一万

三十二万

三十三万

三十四万

三十五万

三十六万

三十七万

三十八万

三十九万

四十万

四十一万

四十二万

四十三万

四十四万

四十五万

四十六万

四十七万

四十八万

四十九万

五十万

五十一万

五十二万

五十三万

五十四万

五十五万

五十六万

五十七万

五十八万

五十九万

六十万

六十一万

六十二万

六十三万

六十四万

六十五万

六十六万

六十七万

六十八万

六十九万

七十万

七十一万

七十二万

七十三万

七十四万

七十五万

七十六万

七十七万

七十八万

七十九万

八十万

八十一万

八十二万

八十三万

八十四万

八十五万

八十六万

八十七万

八十八万

八十九万

九十万

九十一万

九十二万

九十三万

九十四万

九十五万

九十六万

九十七万

九十八万

九十九万

一百万

一百万一

一百万二

一百万三

一百万四

一百万五

一百万六

一百万七

一百万八

一百万九

一百万十

一百万十一

一百万十二

一百万十三

一百万十四

一百万十五

一百万十六

一百万十七

一百万十八

一百万十九

一百万二十

一百万二十一

一百万二十二

一百万二十三

一百万二十四

一百万二十五

一百万二十六

一百万二十七

一百万二十八

一百万二十九

一百万三十

一百万三十一

一百万三十二

一百万三十三

一百万三十四

一百万三十五

一百万三十六

一百万三十七

一百万三十八

一百万三十九

一百万四十

一百万四十一

一百万四十二

一百万四十三

一百万四十四

一百万四十五

一百万四十六

一百万四十七

一百万四十八

一百万四十九

一百万五十

一百万五十一

一百万五十二

一百万五十三

一百万五十四

一百万五十五

一百万五十六

一百万五十七

一百万五十八

一百万五十九

一百万六十

一百万六十一

一百万六十二

一百万六十三

一百万六十四

一百万六十五

一百万六十六

一百万六十七

一百万六十八

一百万六十九

一百万七十

一百万七十一

一百万七十二

一百万七十三

一百万七十四

一百万七十五

一百万七十六

一百万七十七

一百万七十八

一百万七十九

一百万八十

一百万八十一

一百万八十二

一百万八十三

一百万八十四

一百万八十五

論は「五」に於ては頭眼。
而してこの如きにはつたは
「白」五に於てつて黒が放
手が強してゐる。文書「六
にノ用」六は「黒」五に
ネツテ、白は「六」に於て
白の眼に「黒」を喰はせ
○は「六」に於て「黒」の
に六八七六に於て「黒」の
力を取て行つてゐる。以
次に「白」六に於て行
（参 図一）

[illegible][illegible]

紅 鈴 寶 堂 店 會 組 店 店 舞 會 所 社 出 社
1945



試 用
進 呈

株式會社 京 城
株式會社 新 井 莊

定 價 一 圓 五 角 三 分 四 八 毫

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品

夏 日 負 荷 大 目 的 強 力 美 容 力 有 限 公 司 出 品



検眼無料 (學生に限り)
本院本眼科にて検眼す



計時
ラ蓄寫
受半し辛

◆検眼◆
 眼科医及製眼士岩井先生親任にて正
 確に視力を検査して与えます

◆眼鏡◆
 三十餘年間の古き歴史を以つて熟練
 なる技術と精細な製法を完備して弊
 部工場で正確に製造して与えます

カ
タ
ロ
グ
上
に

信
機

コード


器
機

京城驛前 **セブランス病院**

セブランス眼鏡部

元売發ラメカアビムコ

堂時明




想的な
 全編
 は直
 正金

[illegible]

1000

42
